

白・淡色生地用

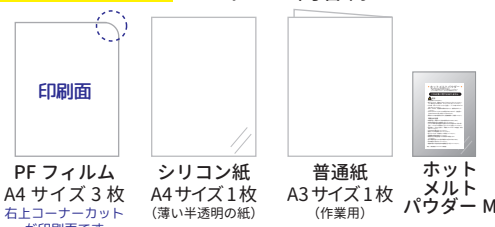
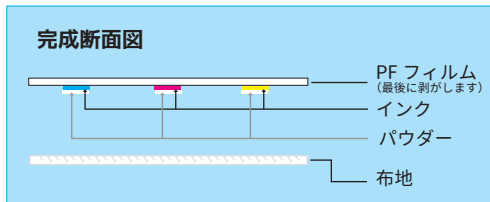
パウダープリントフィルム

QuickArt

開封後はなるべく早くお使いください
(お買い上げ後6ヶ月程度)

この用紙は全色顔料インクジェットプリンター専用です

セットの内容物



フィルム表面にムラがありますが、印刷に影響はございません。
淡い色のデザインはパウダーの乗りが悪く転写しにくいのでご注意ください。

- 1 プリントしたい絵や文字を PF フィルムの印刷面 (カットが右上) に鏡像 (左右反転) で印刷します。
※画像処理ソフトまたはプリンタードライバーの設定で必ず**左右反転印刷**をしてください。
※プリンターには1枚ずつ給紙し、印刷後は重ねないでください。

プリンタメーカー	用紙設定	印刷モード
EPSON PX インク	スーパーファイン紙	きれい

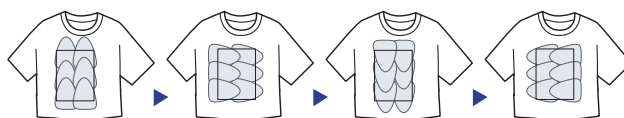
※詳しい設定はそれぞれのプリンターの説明書をご参照ください。
※全色顔料インクのプリンター専用です。 ※メーカーにより顔料インクの発色は異なります。
※全色顔料インクプリンターは、アイロンの熱により色が変化しますのでご了承ください。

- 2 ①で印刷したインクが乾かないうちにパウダーをかけます。
普通紙の上に①で印刷した PF フィルムを広げ、写真のようにパウダーを出してから印刷部分全体にムラなくパウダーを付着させます。
余分なパウダーを落としてください。

※パウダーが付いていない部分は転写されませんので、絵全体にパウダーが付着するようにしてください。
※落とした余分なパウダーは再利用できます。

パウダーの付け方の
詳細は裏面をご参照
ください

- 3 パウダーを付けた面を生地にあてるように配置します。
※一度生地に配置するとパウダーが生地に付きます。再度別の場所に置くとパウダーが足りていない状態になりますので動かさないでください。パウダーを溶かし固めた場合 (裏面参照) は動かしても大丈夫です。
- 4 フィルムの上から直接アイロンでプレスします。(スチームなしドライでご使用ください)
温度は 150°C (中温) で、均一に圧力をかけます。(1ヶ所5秒を4回、体重をかけて)
※アイロン台は不向きです。硬い台の上に1日分の新聞紙を置いたくらい硬さが適切です。



失敗しないコツ 作業する台は固く滑らかな台で! ヒジを伸ばし、体重をかけてしっかりプレス!
シリコン紙を敷いてプレスするとアイロンの汚れ防止になります。

- 5 完全に冷めてから (1分以上放置) フィルムを剥がします。

- 6 シリコン紙を乗せて、再プレスします。(④と同じ要領でプレス)

- 7 シリコン紙を外せば完成です。

※キャンバス生地のような凹凸している生地や硬い生地、撥水加工がされている生地等にはプリントしにくい場合があります。
事前に充分テストの上ご使用ください。

パウダープリントシリーズ



メタリックパウダー
プリントシート
顔料インク用
洗濯 OK



木材用パウダー
プリントシート
顔料 / 染料
どちらも OK

従来のアイロンプリントシリーズ



洗濯につよい
アイロン転写シート



黒・白共用
アイロンプリントシール

写真をプリントしたい場合はこちら。
生地の色によってお選びください。
染料・顔料どちらのインクにも対応。



1

左右反転
印刷
B
a



2

パウダーを
付着させる

詳細は
裏面参照



3

位置決め
する



4

アイロンで
プレス



5

冷めてから
フィルムを
剥がす



6

再プレス



7

完成

開発・販売
株式会社 クイックアート
<https://quick-art.com>



#クイックアート
#パウダープリント
#アイロンプリント



商品コード: IJPDFA4



4 526152 522802

Made in Japan

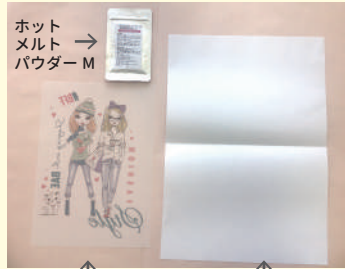
2 パウダーの付け方

インクが乾かないうちにパウダーをかけてください。
印刷後はインクに触れないようにご注意ください。



(動画でも見れます)

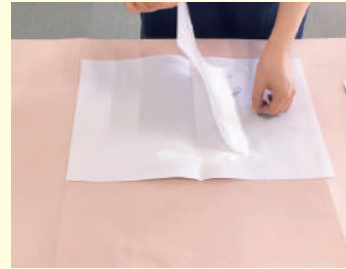
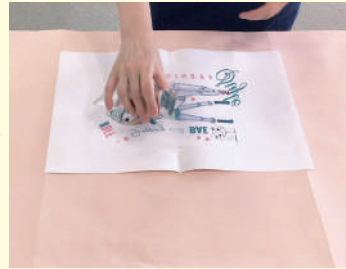
※印刷部分に直接触れないように注意しながら作業してください。



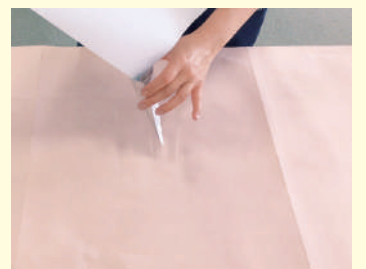
印刷済 PFフィルム パウダー受け紙



パウダー受け紙を広げ、印刷済 PF フィルムの中央にパウダーを一本の太い棒のように乗せます。



PF フィルムの両端をつまんでたゆませ、パウダーを左右に滑らせ印刷部分全体に通過させます。二往復させれば十分です。



フィルムの印刷以外の部分に付いた余分なパウダーを軽くトントンとして落とします。
強く叩くと、必要な部分のパウダーまで落ちてしまいますのでご注意ください。

余ったパウダーは袋に戻せば
再利用できます。

【フィルムを持ち運びするには】

上記手順だけでは印刷部分を触ると絵がズレてしまいますが、パウダーを熱して溶かせば固まりますので、フィルムを持ち運びする事ができます。

パウダーをかけた後、フィルムの裏からアイロン（中温）をあてパウダーを溶かします。
左の写真の様にアイロンを立て、コテ面にフィルムの裏面全面があたるように移動させると効率的にパウダーを溶かす事ができます。パウダーが溶けて透明になったらしばらく放置し、冷えて固まれば完了です。

【ホットメルトパウダー M（同梱品）について】

成分：熱溶解性ポリウレタン系樹脂

性能：インクを包み込み熱をかけると溶けて繊維の間に入り込み、冷えると固まります。

容量：1袋に3枚分が転写できる充分な量が入っています。

警告

- 本品は食べられません。
- 吸い込んだり、舐めたり、口に入れたりしないでください。
- 万一飲み込んだ場合は、すぐにうがいをしてください。
- 口や鼻・目に入らないように注意し、入った時にはすぐに洗い流してください。
- 赤み・かゆみ・刺激等の異常が出たら、使用を中止してください。
- まれに手がスベスベになる場合がありますが、化粧品に含まれるものと同様の成分によるものです。
- 異常がでた時は使用を中止し医療機関にご相談ください。

取扱上の注意

- 健康上気になる方は保護手袋、保護マスク等をご使用ください。
- 本品を本来の用途以外には使用しないでください。
- 子どもや第三者の監督が必要な方の手の届かない所に保管し、いたずらや誤食をしないように注意してください。
- 飛び散り汚れに注意し、飛散したパウダーは適宜、拭き取ってください。
- 火のそばに置かないでください。
- 開封したまま放置しないでください。
- 残ったパウダーは密封して保管してください。
- 直射日光や高温多湿になる場所に保管しないでください。
- 強い衝撃を加えると袋が破損する恐れがあります。
- 他の商品と混ぜないでください。
- 廃棄の際には各自自治体の廃棄区分に従ってください。